



水道料金改定率の検討について

平成30年10月31日（水）
平成30年度 第2回 白井市水道事業審議会



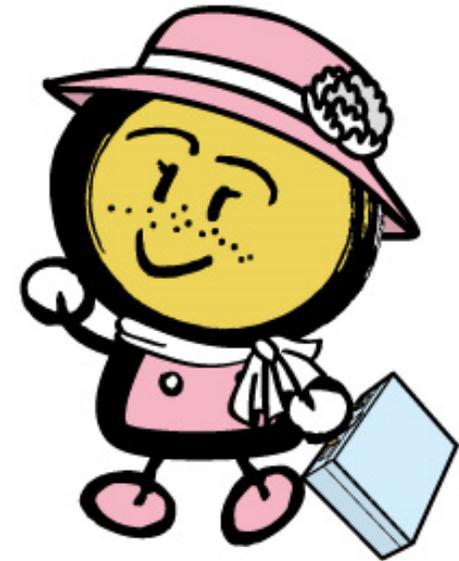
本日の内容

○ 前回会議での指摘事項

- 減価償却費と更新費用の関係
- 管路の寿命
- 県水併存事業体との経営比較
- 他事業体との料金体系等の比較

○ 水道料金改定率の検討

- 35%改定した場合の財政推計
- 20%改定した場合の財政推計
- 10%改定した場合の財政推計
- 段階的に改定した場合の財政推計





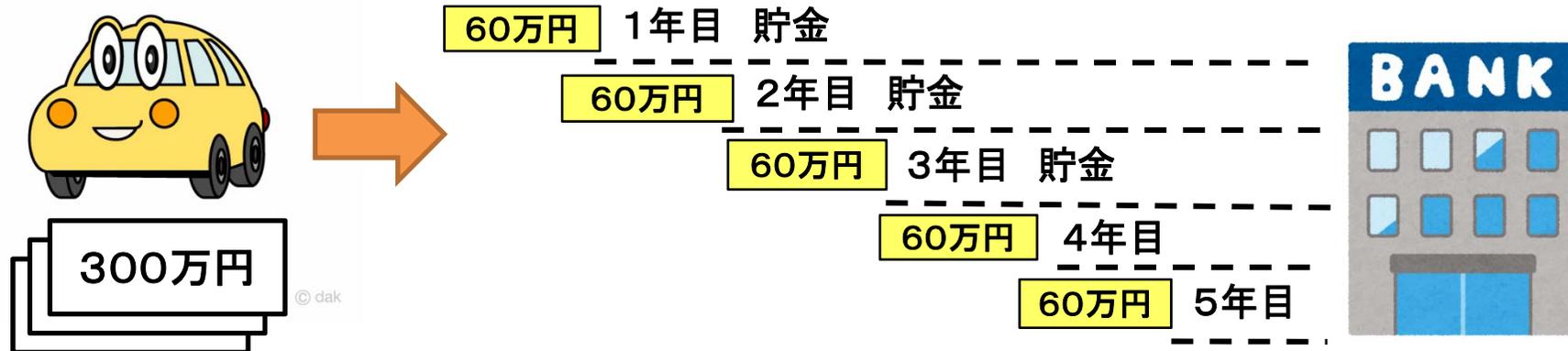
前回会議の指摘事項



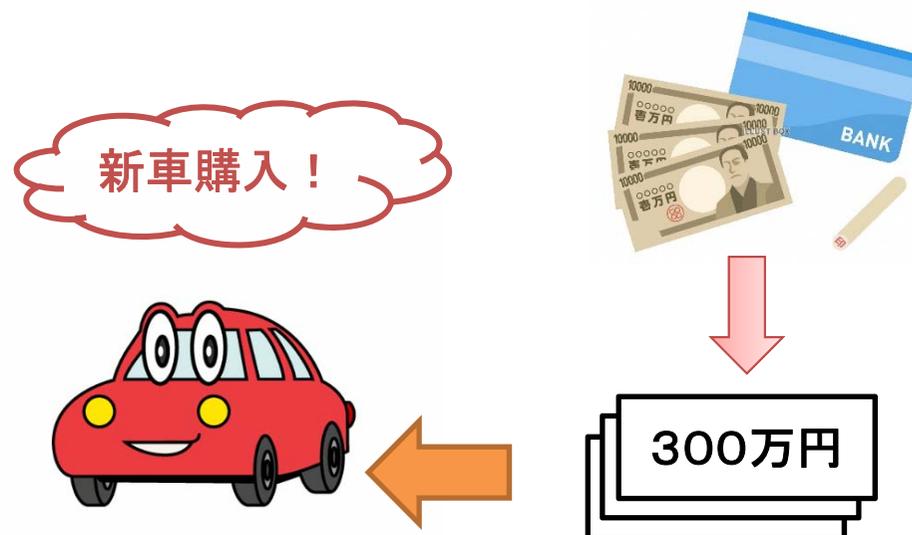
減価償却費と更新費用の関係

減価償却とは

法定耐用年数 5年



車を購入した翌年度から、法定耐用年数で割った費用を毎年度計上し続けることで、法定耐用年数が終了した翌年度には、新たに車を購入できる仕組み。



水道事業の減価償却費は、何処に貯金されているの？



建設に関する収支の不足分は、前年度までの減債積立金や純利益、減価償却費などで蓄えてきた自己財源で「補てん」されて運営している

毎年度積み立てしている減価償却費は、少しずつ取り崩されている

管路の老朽化と更新

水道管を取り替えるサイクル「法定耐用年数」



法定耐用年数は、必ずしも、実際の使用限界と一致していない。
管の材質、継手の種類や設置環境や劣化状況などによって変わる。



厚生労働省の管路の耐震化に関する検討会
実使用に基づく管路の更新基準の設定例
60年～80年



配水管の耐震適合率

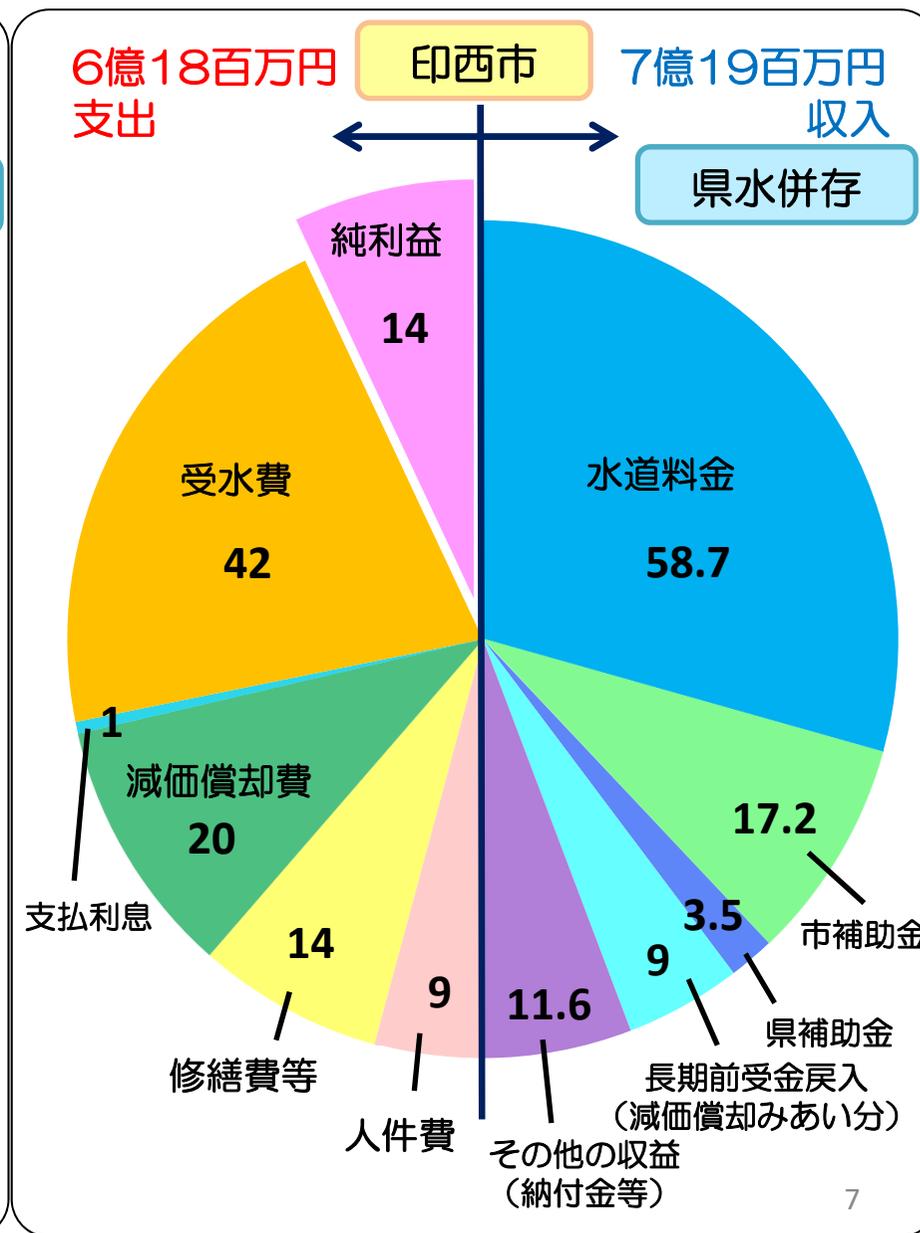
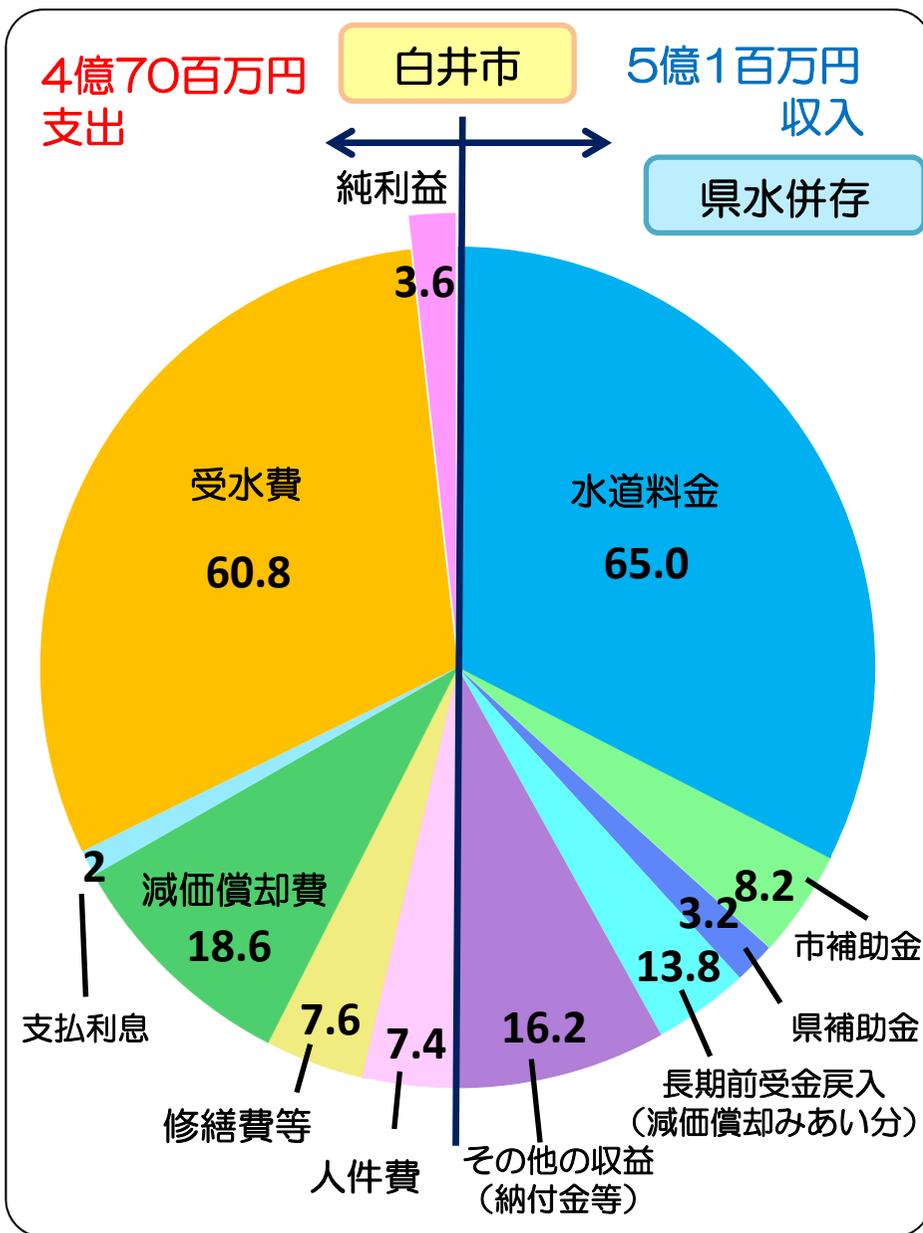
白井市 65.7% (H29年度末)
全国平均 28.5% (H28年度末)

印西市：16% 佐倉市：36%
流山市：55% 柏市：26%

管路更新計画 平成34年度策定予定

既設管の状況調査などを実施し、実使用年数の更新基準を設定し、更新の優先順位や更新費用の平準化等を検討していく予定。

県営水道併存事業体との経営比較

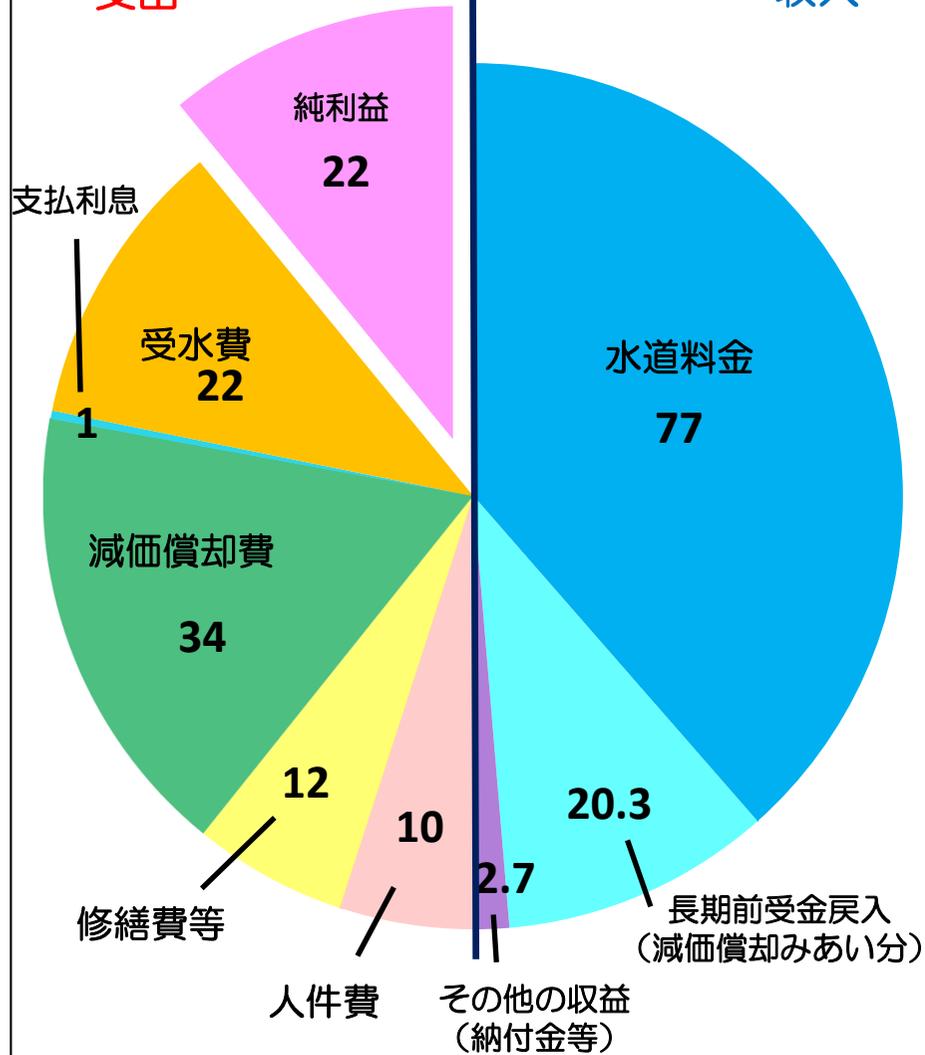


習志野市

県水併存

18億4千万円
支出

22億44百万円
収入



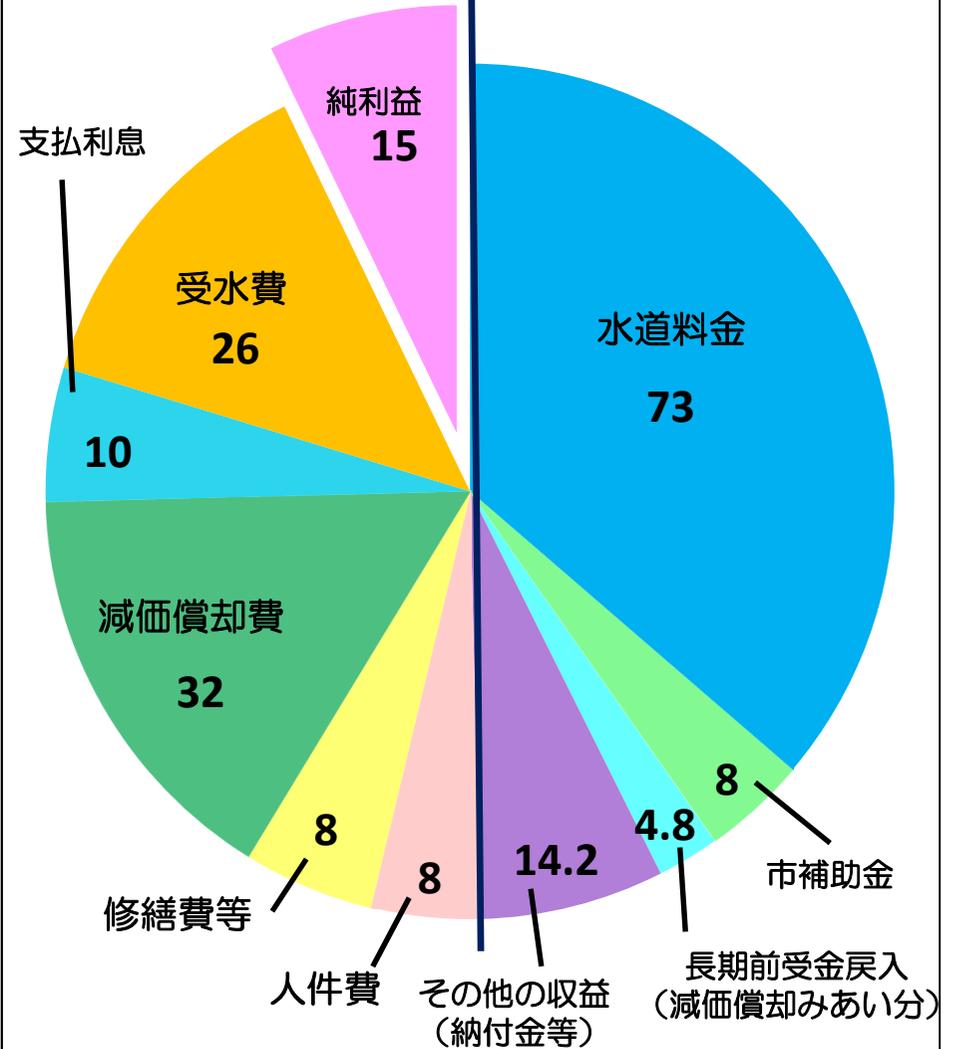
市や県からの補助金無し

成田市

県水併存

18億8百万円
支出

20億7千百万円
収入

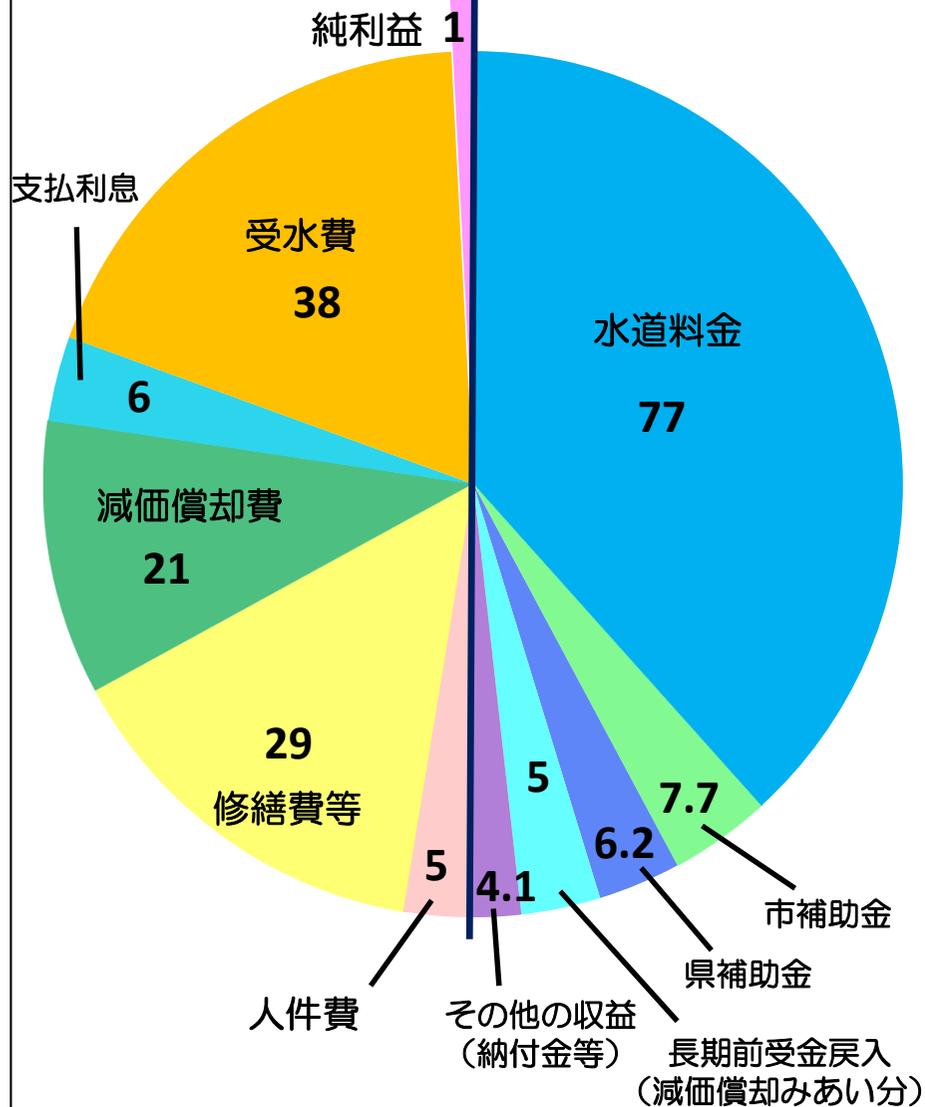


八街市

県水無し

9億5千万円
支出

9億6千万円
収入

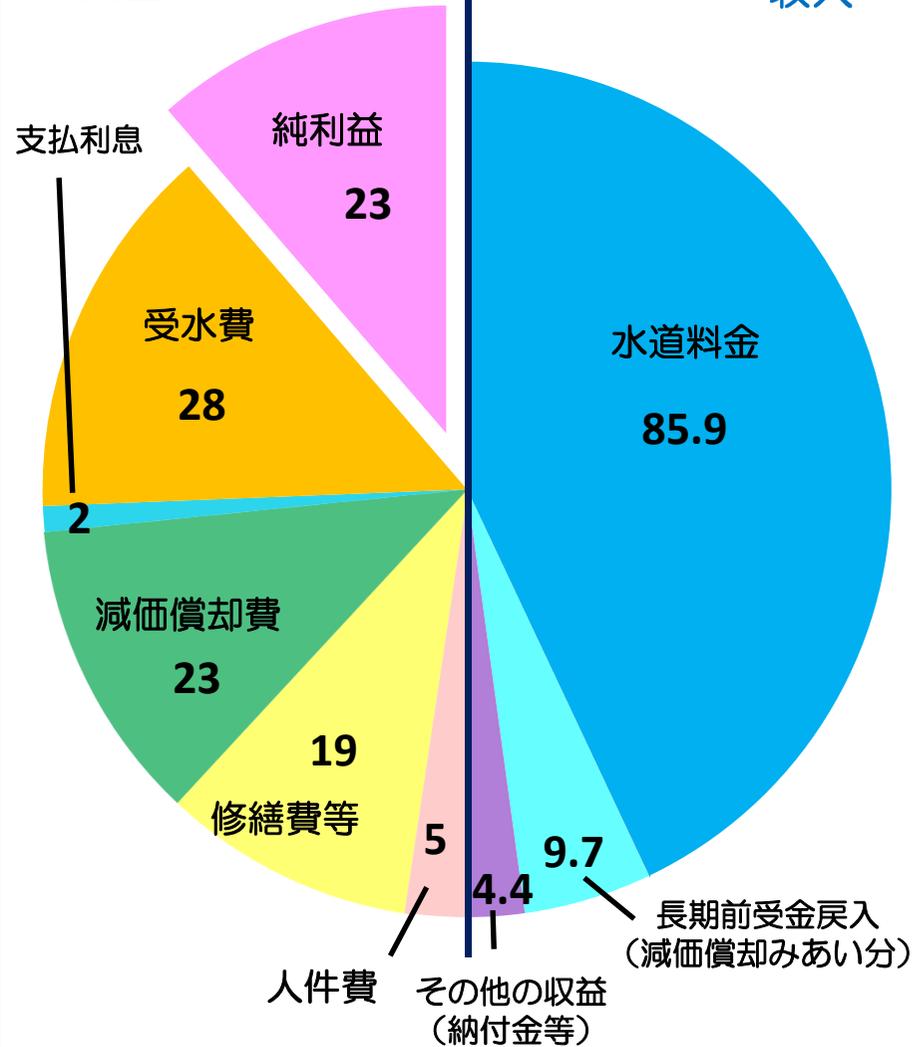


柏市

県水無し

62億7千万円
支出

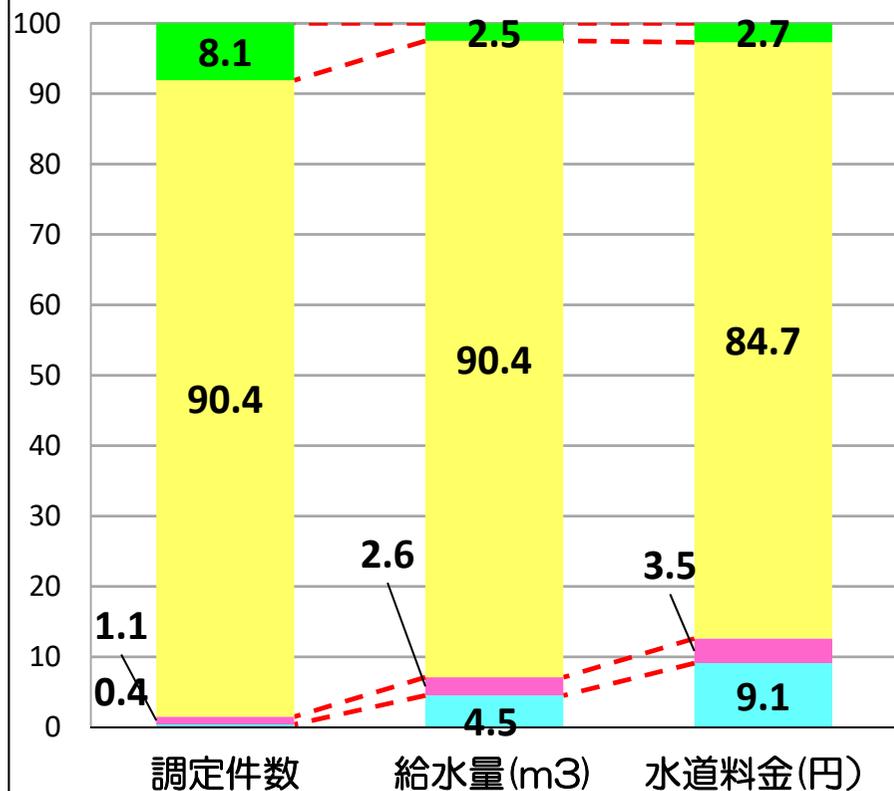
81億17百万円
収入



市や県からの補助金無し

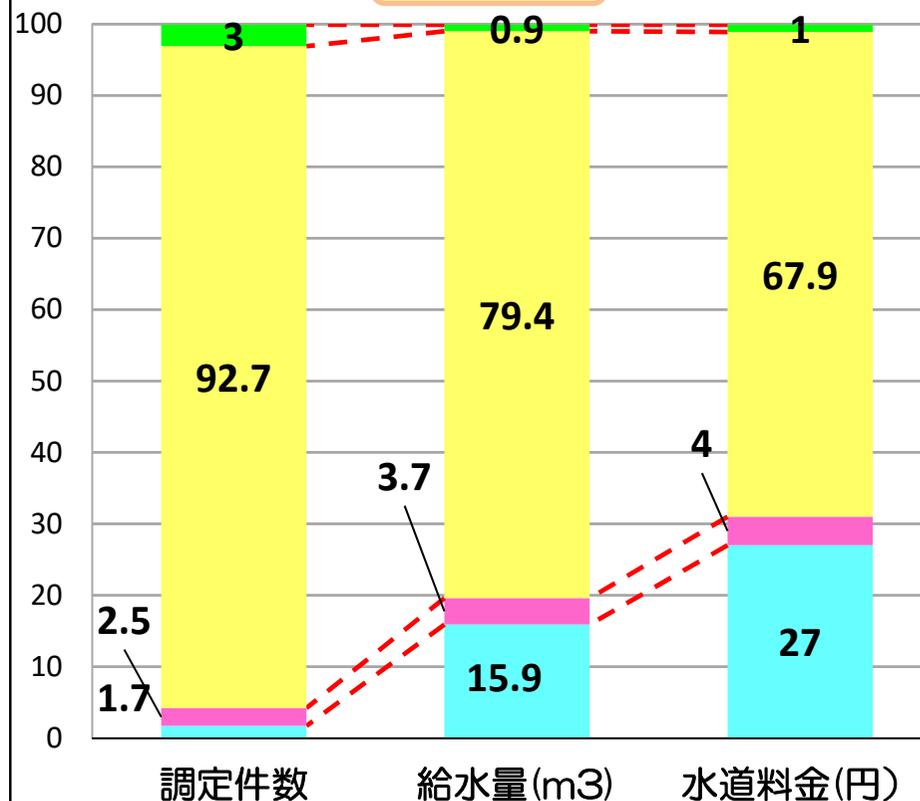
口径別の調定件数・給水量・水道料金の割合

白井市



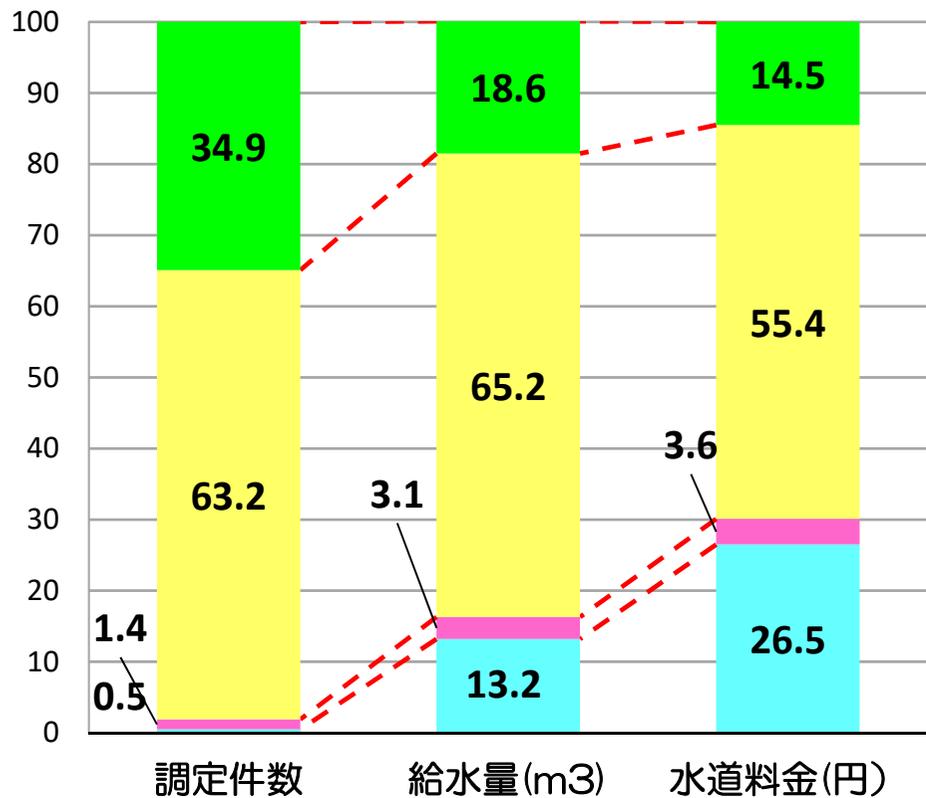
13mm	3,732	40,329	9,476,874
20mm	42,092	1,458,617	298,269,290
25mm	527	41,551	12,317,639
大口	193	72,394	32,033,842

印西市



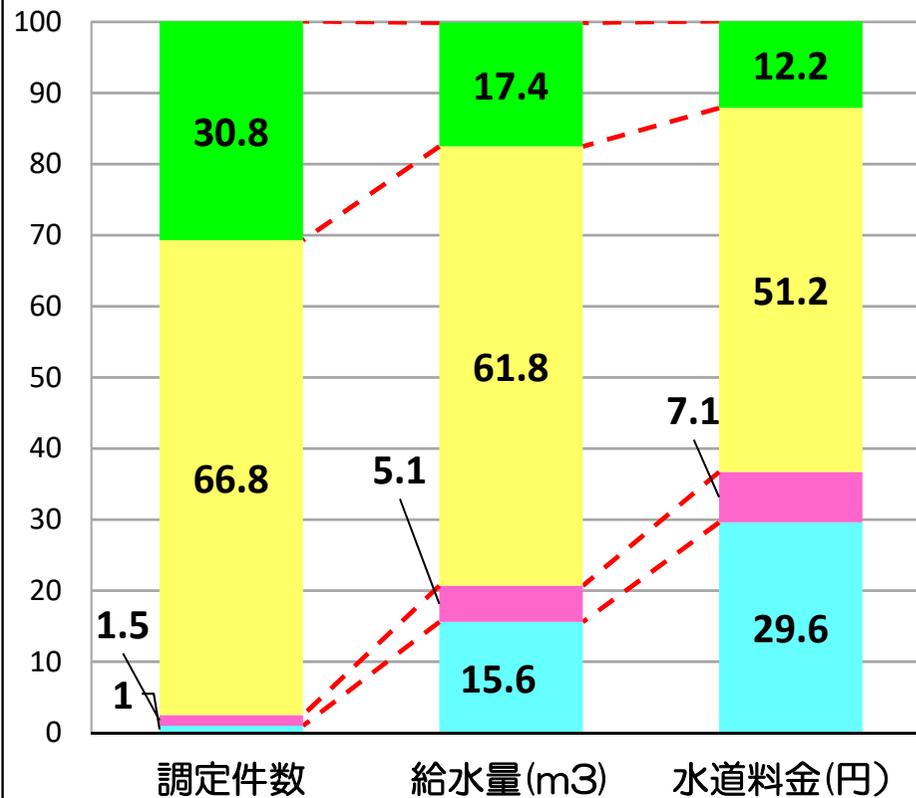
13mm	1,263	15,670	4,707,084
20mm	39,097	1,352,655	313,964,379
25mm	1,071	63,160	18,517,228
大口	723	271,094	125,027,644

習志野市



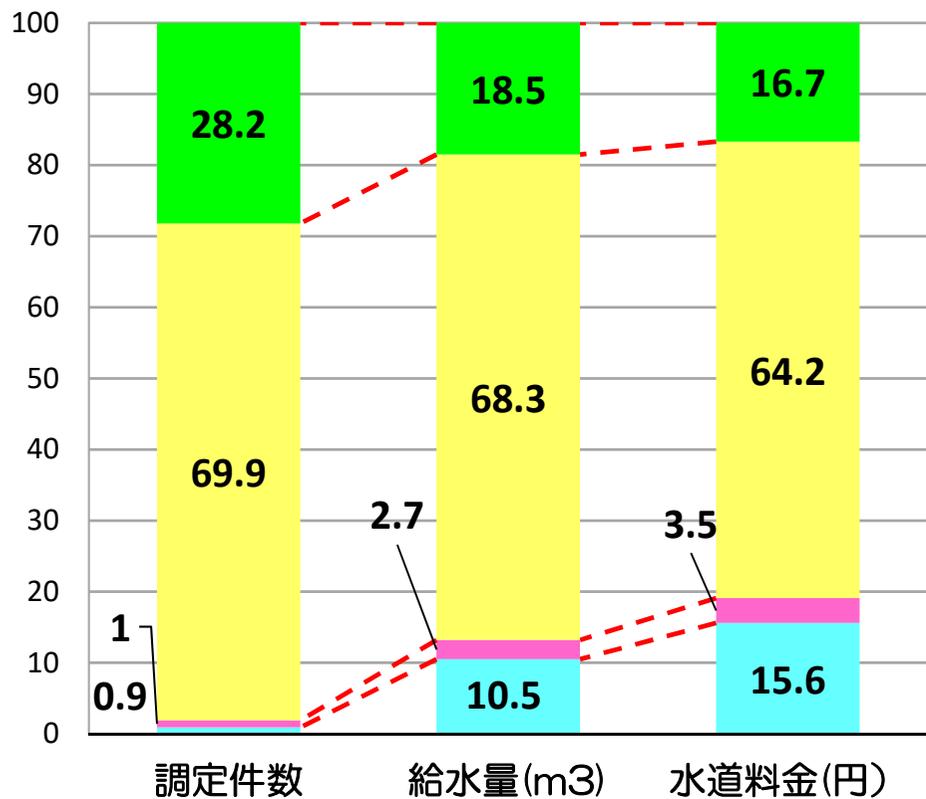
13mm	216,611	2,134,162	249,690,053
20mm	392,432	7,481,233	952,404,728
25mm	8,733	353,283	61,140,547
大口	2,936	1,511,304	455,539,487

成田市



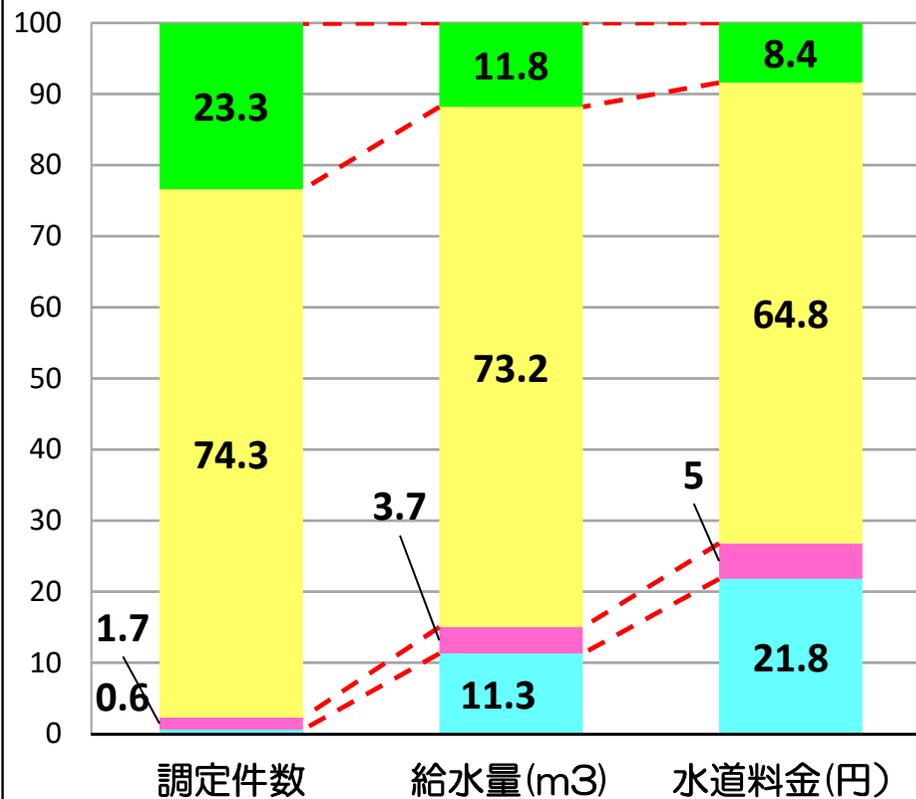
13mm	63,102	1,234,004	201,533,648
20mm	136,985	4,374,635	846,107,271
25mm	3,070	363,707	117,229,280
大口	1,965	1,106,314	489,284,512

八街市



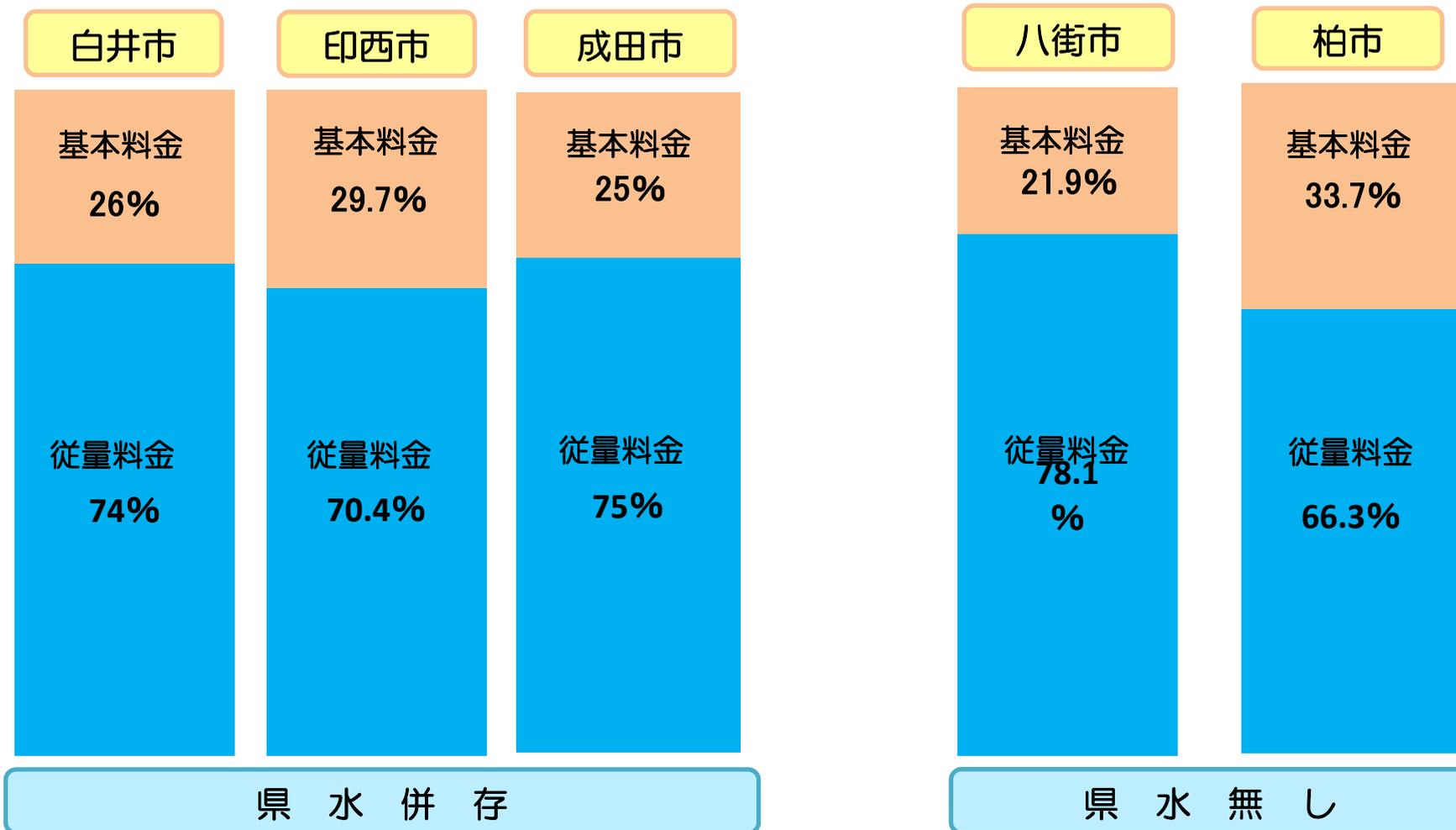
13mm	25,028	600,987	133,953,380
20mm	62,044	2,225,893	513,689,990
25mm	910	89,427	28,002,990
大口	827	340,737	124,988,820

柏市



13mm	252,540	4,502,119	635,091,299
20mm	803,794	27,826,056	4,919,382,895
25mm	18,789	1,414,414	382,432,783
大口	6,482	4,280,846	1,655,621,108

基本料金と従量料金の割合





水道料金改定率の検討





料金改定率の目安

自己財源を確保しつつ、他会計補助金や県補助金に依存しない経営を目指すには（他会計補助金、県補助金 0円）

35%値上げした場合

例：口径20mm 使用量28m³/月
5,600円/月 → 7,560円/月

算定期間 5年間
(平成31年度～平成36年度)

約35%の料金改定が必要！

基本原則

経営の基本原則

受益者負担の基本原則

市民生活

市民生活に直結する水道料金値上げは、大きな影響を与えるため、激変緩和策を検討する必要がある

バランス

料金改定を行うことで、自己資金を確保しつつ
経営の安定化を図りたい。



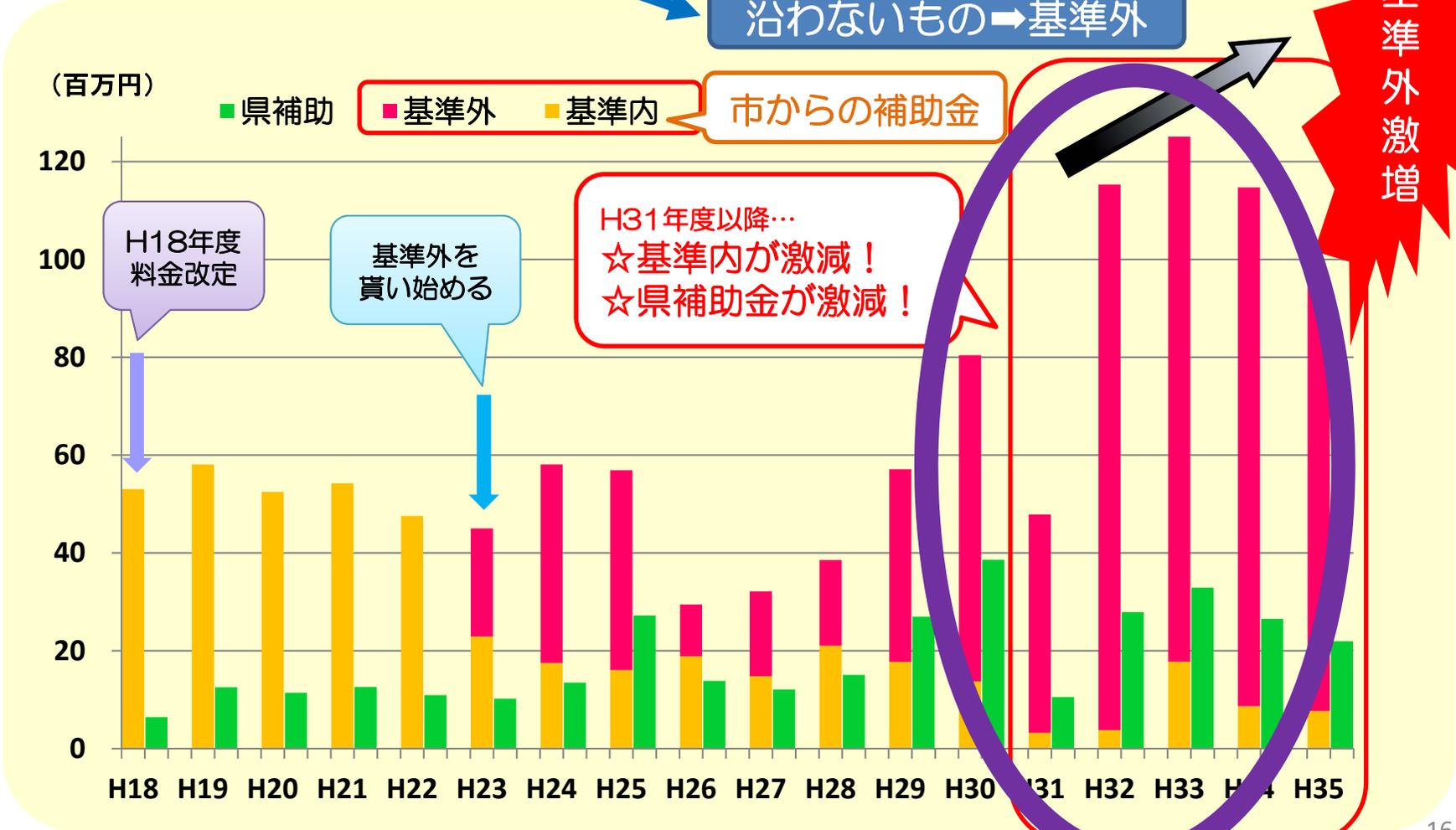
前回資料

市や県からの補助金の実績と予測

総務省から示される繰出基準

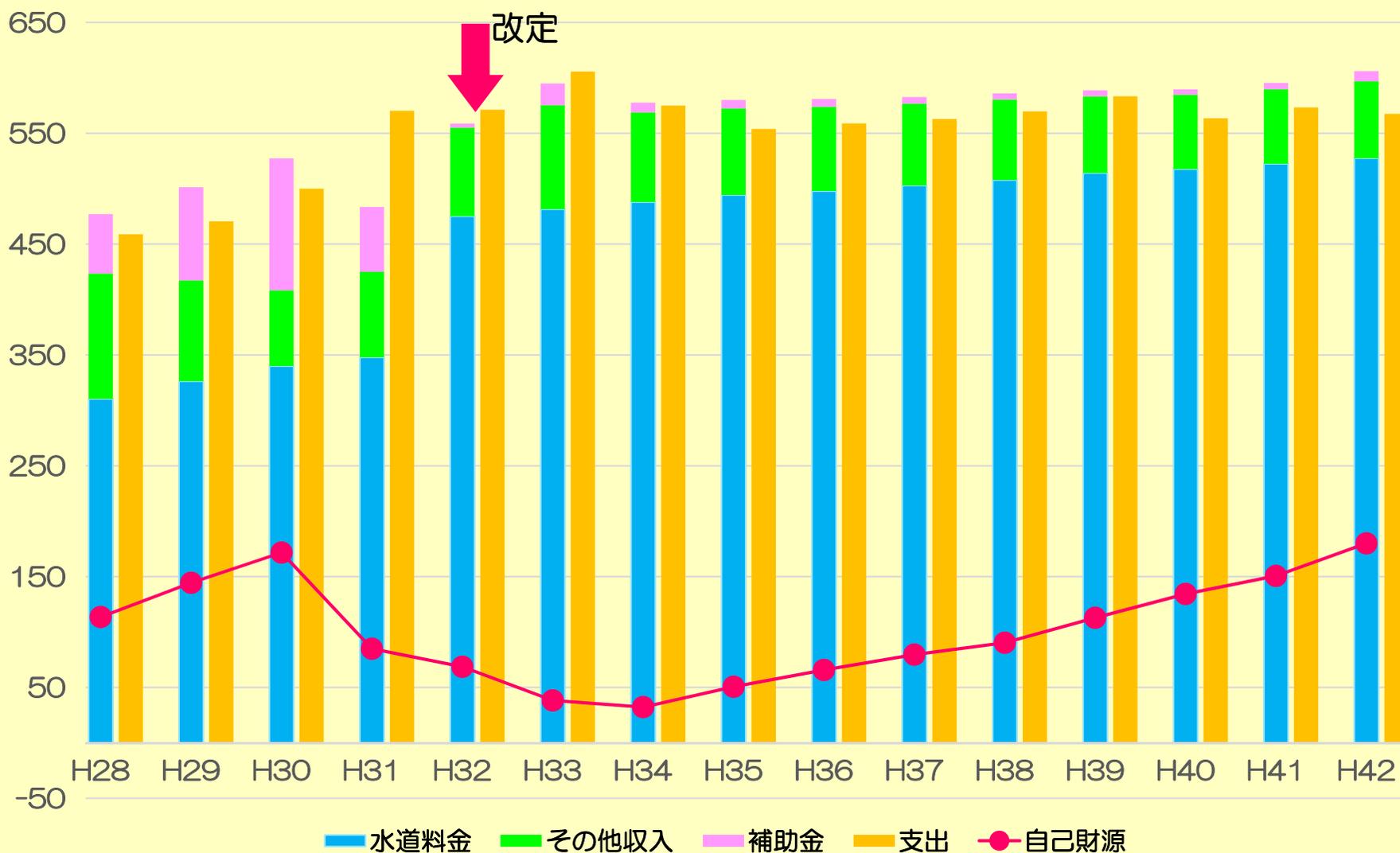
沿うもの⇒基準内

沿わないもの⇒基準外

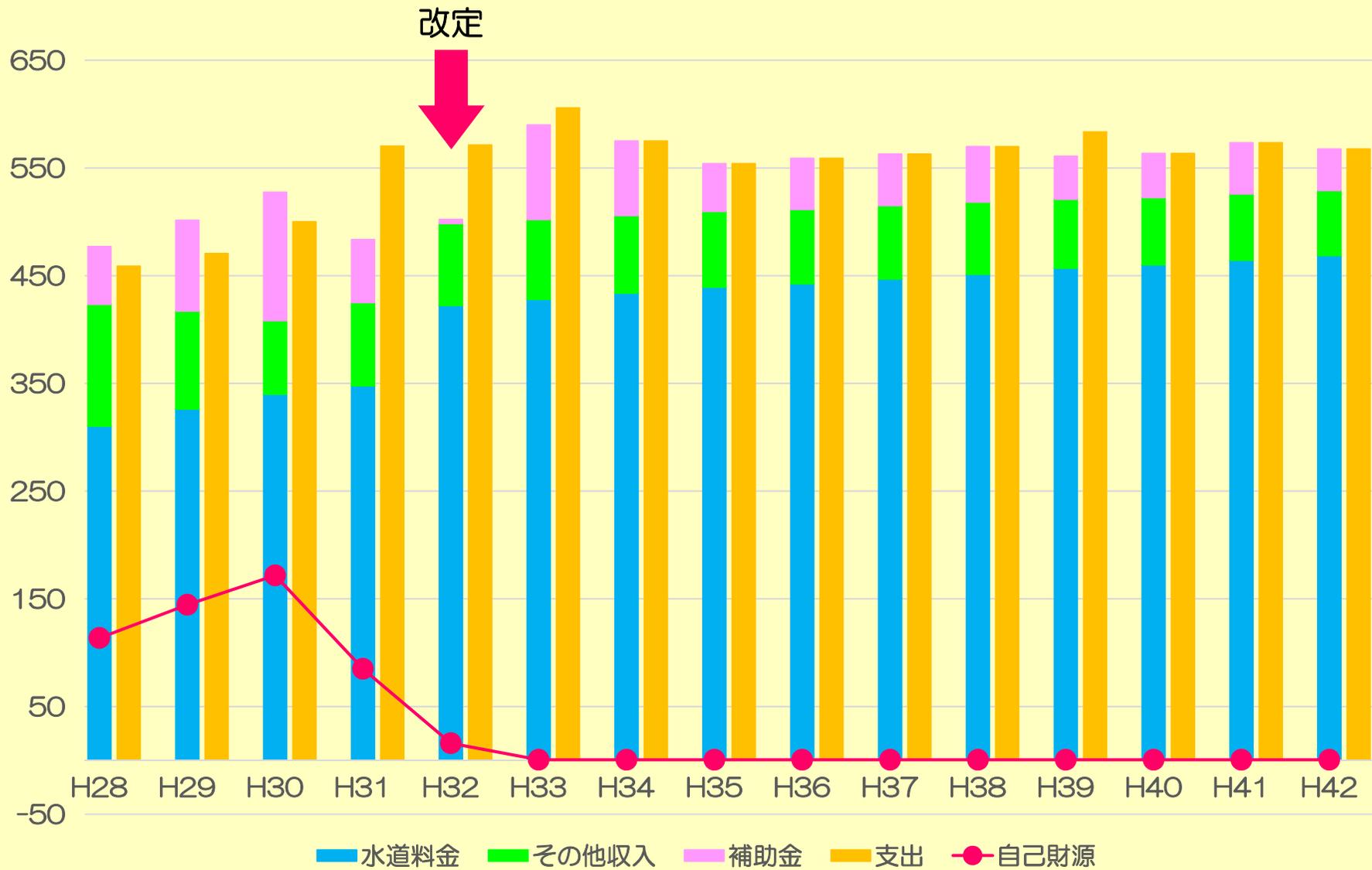


平成32年4月 水道料金改定

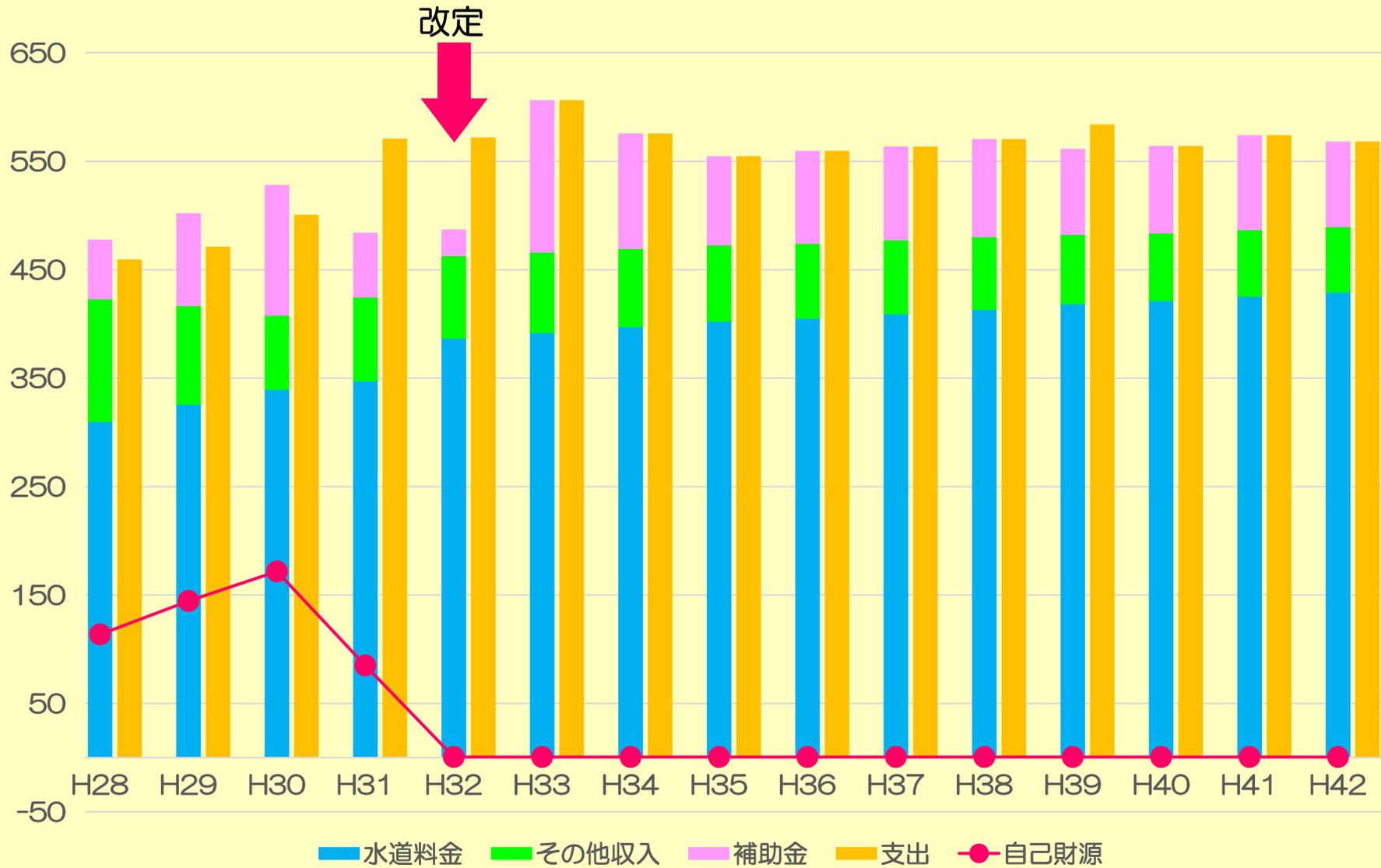
案1：改定率35% 財政推計



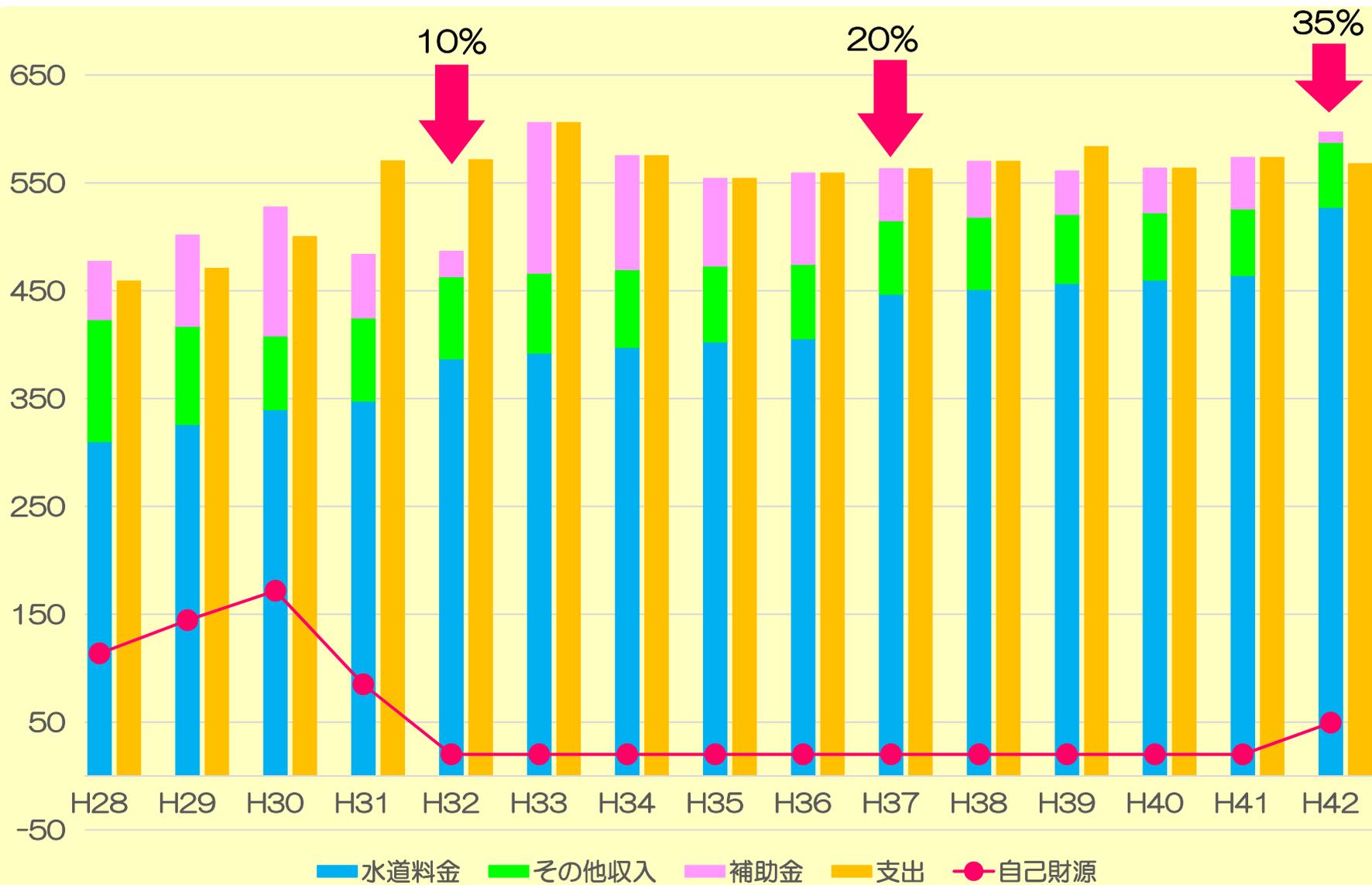
案2：改定率20% 財政推計



案3：改定率10% 財政推計



案4：改定率10%→20%→35%と5年ごとに段階的に改定 財政推計

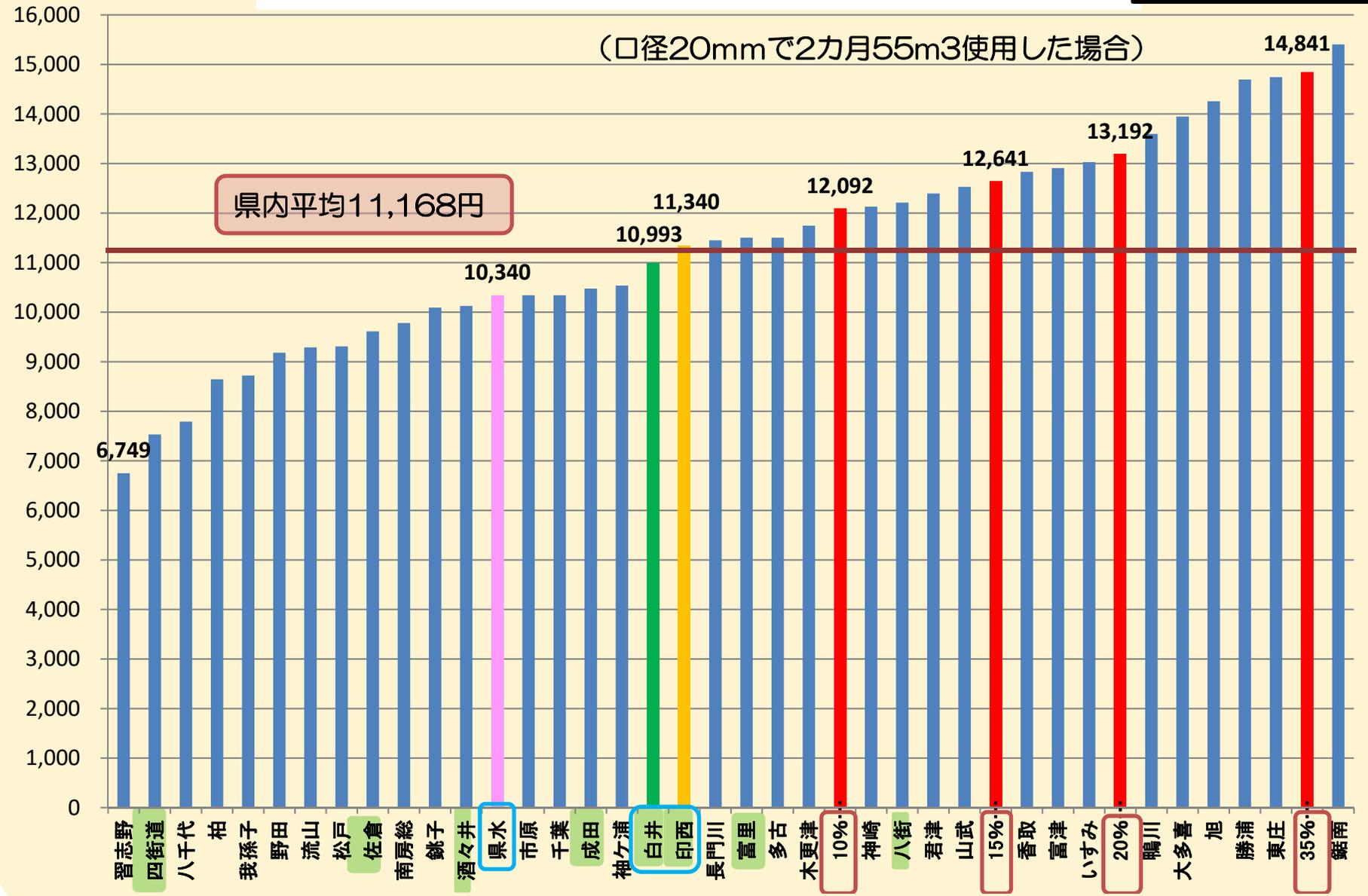




県内水道事業者との料金比較



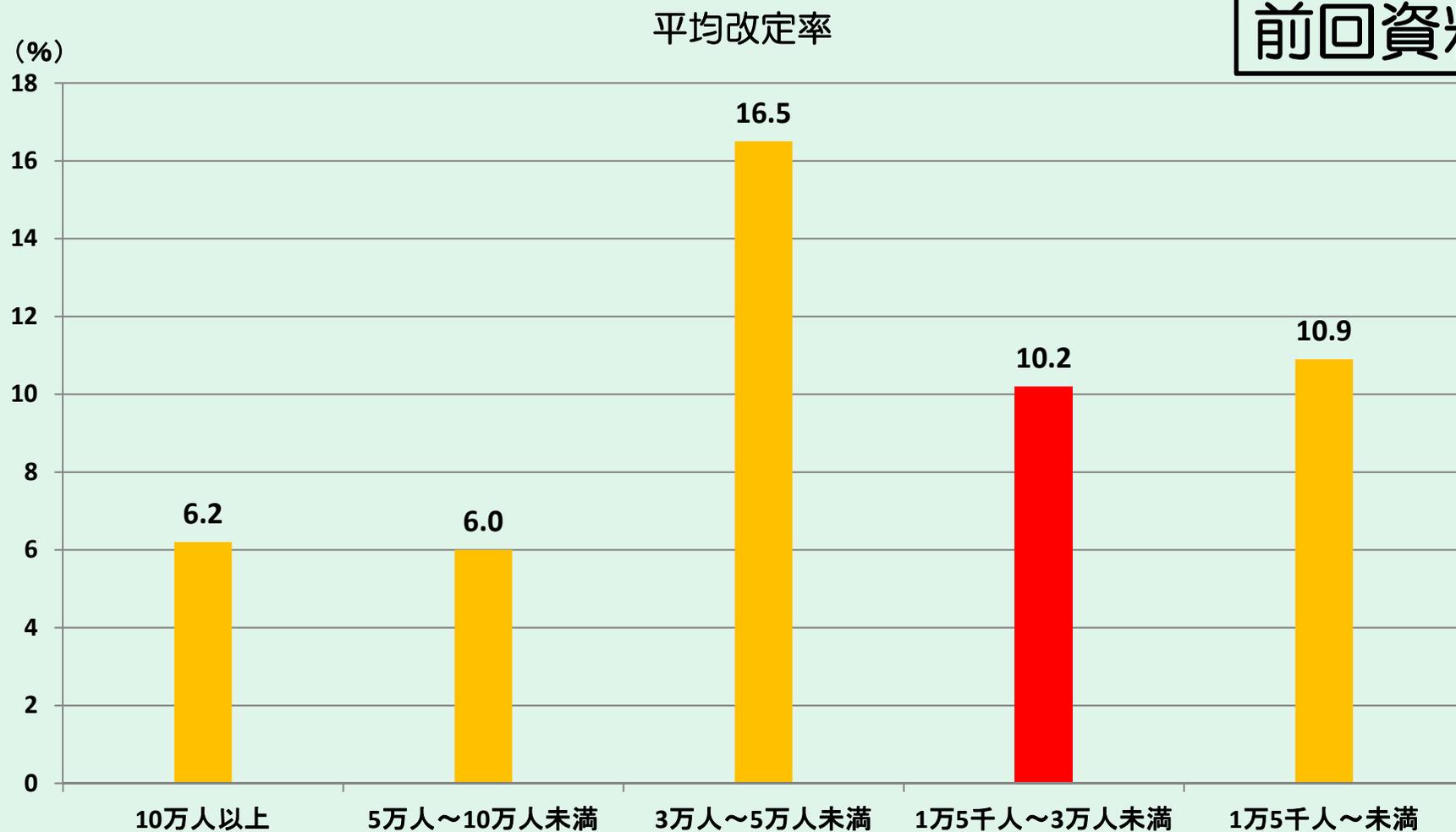
県内水道事業者2カ月当たりの水道料金の比較



印旛広域水道構成団体

平成28年度中に水道料金改定を行なった74事業体の平均改定率

前回資料

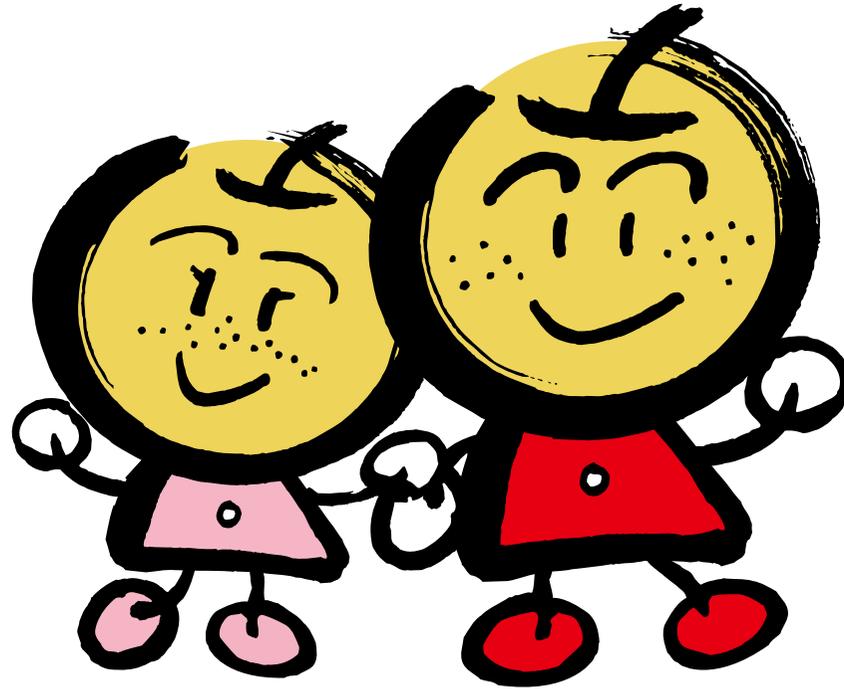


白井市給水人口
19,056人
(H28決算)



今後の審議会の予定

平成30年度	審議事項
8月22日	水道料金の改定について（諮問）
10月31日（本日）	・改定率の検討
12月～2月	・料金改定（案）の検討
	・答申（案）の検討
3月	・答申



ご清聴ありがとうございました